

《ライブラリアン新画伯ご挨拶》

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます！勉強や部活に忙しくも充実した毎日を送っていることでしょう。そんな皆さんに、ひとつクイズといきましょう。

皆さんが手に持っているこの『**タブラ・ラサ**』、一体誰が作っていると思いますか？「学校」と言われれば元も子もありませんが、「図書館学生新聞って書いてあるから図書館」と答えたアナタ、惜しい！「図書館」のみを残して、その後に「サポーター」を付けて下さい。そうです、「**図書館サポーター**」、これが正解であり、我々のことでもあります。え？賞品？……まあ、良いじゃありませんか。

さて、我々図書館サポーターは、現在1年生4名、3年生5名、4年生8名、合計17名、そして、我々がマスコットキャラクター「**ライブラリアン13世**」1匹と共に日々活動しております。この『タブラ・ラサ』の制作はもちろん、図書館のメイン**展示**スペースを盛り上げたり、2週間に一度語らったり、学校を挙げてのイベント「**読書家大賞**」を主催したり…とその他様々な活動を展開しています。とにかく、図書館を大いに盛り上げてサポートする会、それが図書館サポーターなのです。

「どうせ入ってるのって、日本文学科ばっかじゃないの？」「違う学科だから入りづらいんだけど」と言うアナタ。ご安心を！日本文学科だけではなく、英米語学科の学生も入っています。

「難しい本ばっか読んでそうじゃない？」「ジャンルがちょっとマニアックなんです」と言うキミ。その点も心配御無用！現代文学や世界の古典文学、はたまたライトノベルまで、色々な本を読んでいる人達が集まっています。本について語ったり、新しい視野が広がったり、沢山の**出会い**が待っているとしますよ。

本が好きな人に、学部、学年、学科、ジャンルなどは関係ないというのが私達の考えです。ということで、**随時サポーターを募集**しております。もちろん、見学のみでも大歓迎です！まず、図書館カウンターにご連絡を。

後に「青春」と振り返るこの日々には、きっと今しか出来ない、感じられない大切な**輝き**があります。この時を共に謳歌しましょう！（日本文学科3年 山田春香）



オススメ☆ラノベ特集 (1)

この特集は、私の独断且つ偏見（つまり私自身の好み）に基づいて
様々なライトノベルを紹介していきます。

第一弾は、ご存知の方もいるかと思いますが、西尾維新先生の『戯言シリーズ』です。このシリーズは全9巻、全て講談社ノベルスから出ています。主人公兼語り部である〈ぼく〉ことイーちゃんが様々な人々と出逢って、成長していく(?)物語です。最初はミステリーですが、後から段々人外バトルな話になっていきます。また、外伝的小説として、『零崎双識の人間試験』『零崎軋識の人間ノック』『零崎曲識の人間人間』の『人間シリーズ』があります。実を言うと、私は『戯言シリーズ』本編よりこの『人間シリーズ』の方が好きです。『人間シリーズ』は本編に出て来る零崎人識という人物が所属する〈零崎一賊〉をクローズアップした小説です。ただし、『人間シリーズ』は『戯言シリーズ』よりもグロイ表現が多いので、苦手な方は要注意です（本編にも多少のグロは含まれています）。

『戯言シリーズ』のオススメポイントは、何と言っても個性的過ぎるキャラクター達です。第1巻の『クビキリサイクル―青色サヴァンと戯言遣い』だけでも、本名不詳で戯言遣いの主人公〈イーちゃん〉、青い髪で天才技術屋、不思議な喋り方の〈玖渚友〉、三つ子メイド等の登場人物が出てきます。そして、その個性的過ぎるキャラクター達が紡ぐ物語は、時にシリアスに、時にはギャグたっぷりです。読者を戯言ワールドに導きます。また、『戯言シリーズ』では“名前”が鍵を持つことも多いので、登場人物の名前にも要チェック！

この『戯言シリーズ』は、文庫本で図書館にもありますので、興味を持った方は是非読んでみてください！

(日本文学科3年 吉松絵理沙)



中国で話題の日本人作家達

皆さん、久しぶりですね~~~~元気ですか？青島大学からの交換留学生 王妮です。

以前タブララサで、青島大学日本語学院の資料室を紹介しましたが、資料室の写真を見ましたか？今日は資料室の人気本棚に置いてある本について皆さんに話しましょう。

<<ガリレオブーム>>

中国での主な日本現代文学作家は、村上春樹、渡辺淳一、よしもとばなななど、日本でもずっと前からよく知られている大作家です。しかし、学生の中で一番広く読まれているのはロマンチックなラブ小説ではなく、探偵小説でしょうか。現在の中国の10代、20代も子どもの時、日本の「名探偵コナン」のアニメに夢中になり、また、「金田一少年の事件簿」の漫画など多くの探偵ものを読んできました。

そして2007年、「神探ガリレオ」(日本題「ガリレオ」)というドラマと共に、この物語の主人公「湯川先生」は、「コナン」、「金田一」に続く、新たな探偵アイドルとなりました！日本では、原作の評判によってドラマ撮影になるのかもしれませんが。しかし今の中国では、初めに漫画、ドラマ、映画などが作られ、若者はその中から気に入った作品の原作を小説で読むようになってきました。「神探ガリレオ」もそうです。「神探ガリレオ」(「探偵ガリレオ」)から、「予知夢」、「容疑者Xの献身」、「聖女の救済」、「ガリレオの苦悩」まで、作品中の完璧な推理を通じ、東野圭吾もどンドン現代文学界の「ガリレオ」として、現代日本名作家の列に入ってきたのです。

人々が「ガリレオ」に熱い関心を寄せ、猛烈な「ガリレオブーム」が起こっているのにはもう一つの原因があります。それは、「さっぱり分からない」や、「実に面白い」などの「湯川先生」の口癖です。今、新たな流行語として、私たちの国の若者の間で多く使われています！



松本清張 生誕 100 年記念便乗企画

清張記念館訪問記

春休み、私たちは清張記念館を訪れました。場所は、北九州市の小倉城近くです。中に入ると、まず目に飛び込んでくるのが、松本先生の作品を吊してあるパネルです。とにかく、その数に圧倒されます。次は先生の年譜と当時のニュース映像等で構成された長さ 22 メートルにも及ぶ巨大な年表です。反対側には、ジャンル毎に先生の著書が紹介されています。

先生の作品といえば、「点と線」や「黒革の手帳」など社会派推理小説がよく知られていますが、それ以外にも歴史小説、現代・古代史の研究など多岐に渡ることが分かります。その先には推理劇場があり、先生の代表作、「日本の黒い霧」を題材にした「日本の黒い霧—遙かな照射」というオリジナルドキュメンタリー映像が放映されています。残念ながら、私達が訪れた時には時間が合わず観ることが出来ませんでした。また機会があれば観てみたいと思います。

そして、その先には先生の東京・杉並区の家を再現展示した家が現れます。家は二階建てになっていて、一階部分には応接室が、二階部分には書齋や書庫が再現されています。書庫にはあふれんばかりの蔵書があり、本を書くために必要であるとはいえ、その大変さが実感として伝わりました。また書齋は仕事をされていたそのままの状態が再現され、床のタバコの燃え跡や机のキズまでありました。これらの展示室を囲むように、遺品や書きかけの原稿が展示されており、松本清張という人間を見ることができました。

記念館の展示は先生の人間性を強く感じられるものでした。特に、作品を作るために資料を自分なりにまとめたものや、推敲を繰り返した原稿用紙などは文章を書く事の大変さを改めて実感させられます。みなさんも是非一度訪れてみてはどうでしょうか。

(英米語学科 3年 坂口くらら)



ハイ！ 一緒に行きたい人、集合。JR 小倉駅徒歩 15 分、西小倉駅からなら たったの 5 分だぞよ。



やってみなはれ 清張クイズ

清張の作品は数多く映像化されています。映像化第一号は、何と1957年だったそうですよ。ちょっと古いものもありますが、どれ位ご存知ですか？記憶に残っているのは？

Question：次の作品の主演役者を下から選んでください。

()内は発表年；Dはドラマ、Mは映画

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 駅路 (2009D) | 2 疑惑 (2009D) |
| 3 点と線 (2007D) | 4 黒革の手帖 (2005D) |
| 5 砂の器 (2004D) | 6 けものみち (1991D) |
| 7 鬼畜 (1978M) | 8 ゼロの焦点 (2009M) |

【主演役者名】(同じ記号は一度しか使えません)

- | | |
|------------------|--------|
| ア 緒方拳 | イ 田村正和 |
| ウ 十朱幸代 (知ってるかな?) | エ 中居正広 |
| オ ビートたけし | カ 広末涼子 |
| キ 役所広司 | ク 木村拓哉 |
| ケ 米倉涼子 | コ 山田花子 |

答は下



ミニ展示のお知らせ

5月中旬～6月末(予定)に「清張展」やります！
図書館へどうぞ。



Answer

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 1 キ | 2 イ | 3 オ | 4 ケ |
| 5 エ | 6 ウ | 7 ア | 8 カ |

第三回 読書家大賞

次の受賞者はあなた！

「読書家大賞」は、梅光学院大学父母会課外活動等奨学金でサポーターがいただいたお金で運営いたします。父母会のご厚意に感謝いたします。

【応募要項】

対象：梅光学院大学に在籍する学部生

賞の種類

読書家大賞：指定期間に最も多くの本を読んで応募した人

準読書家大賞：大賞は逃したが、多くの本を読んで応募した人

ナイスコメント賞：応募した本の冊数に関係なく、サポーターの心をわしづかみにするハツとするようなコメントを書いた人

対象となる本：梅光学院大学図書館所蔵の本

大学生協の「読書マラソン」に応募した本

応募方法：①図書館備付の応募用紙に記入、図書館設置の応募箱に入れる

②記入事項は名前(ペンネームでも可)、本のコメントなど

③応募期間 2008年10月～2009年10月(秋の宗教講演会前)

副賞：高額図書券【何と、生協でのテキスト購入にも使える】

図書館キャラクター「ライブラリアン13世」グッズも贈呈!!!

受賞者の披露：秋の宗教講演会

審査方法：①大賞・準大賞：図書館の応募用紙と

「読書マラソン」応募カードの合計数で決定。

②ナイスコメント賞：サポーターが選定

③ナイスポップ賞：本を宣伝するためのアート(?)

審査員：図書館サポーター

応募方法はカンタン。本を借りたついでに「一言」コメントを書けばOK。
応募者にはもれなくオリジナルブックカバーを贈呈。

♥ 他では絶対に手に入らない超レア物！♥

今年は松本清張、太宰治などビッグネームな文豪が生誕百年を迎えるので、図書館サポーターとして忙しい一年になりそうです。気合を入れて作業に携わりたいと思っております。応援よろしくお祈りします！

(日本文学科2年 浅田梨沙)



梅光学院大学図書館学生新聞

『Tabula rasa』 第10号

発行日：2009年4月30日

編集・発行

梅光学院大学図書館サポーター

図書館長 松尾文子